

## 2017年8月実施 運営推進会議（介護・医療連携推進会議）議事録

日時 2017年8月31日（木）16:00～17:00  
場所 生協くさつ24  
参加者 地域住民の代表者等：柿岡泉巳様、大迫武尚様  
地域の医療・介護関係者：黛喜久美様、浴長佐枝子様  
家族等：  
市町村等：実平信介様（地域包括支援センター）  
定期巡回職員：土井山淳子  
法人職員：田頭嘉直  
記録者 土井山淳子

### 【議題】

#### 1. 運営状況報告

生協くさつ24 管理者土井山より、6月7月8月の運営状況と事故・苦情報告を行った。

参加者より質問

夜間の随時対応について転倒・車椅子からの転落・ベッドからの転落等の随時対応が増えた。

\*要介護1の方で随時の対応がない方については、定巡が必要なのでしょうか？

ご家族が同居でも日中お一人になる為、内服の確認や暑い時期などの水分補給・室温管理等で日中安全に過ごせるよう定期訪問をさせて頂いています。転倒・転落・体調不良が無い事が望ましい事なので、随時対応が無いから定巡が必要ないという事ではないと考える。随時対応を減らす工夫も必要です。

苦情について

\*利用者も増え忙しいのは当然なので、利用者も理解をしないとイケないのでは？定期訪問の最中だと随時対応の訪問に時間がかかっても仕方ないのでは？

緊急の時は「すぐ行きます。」の返事だけでは利用者は不安が募るばかりなので、具体的に「約〇〇分かかります。」や「△△に居ます（地域）約〇〇分かかります。」などの説明を付け加えるよう心がけます。職員は時間に追われる中でも、利用者とのコミュニケーションを大切にしながらより一層努力を重ね、満足して頂けるようスキルアップを図りたい。

職員間の連携の取り方について

勤務によっては同行や申し送りがしっかり出来ないまま訪問しなくてはいけない事がある。タブレット端末や業務日誌だけの申し送りだけでは、利用者の近況報告を見落としてしまう事もある。日勤帯でも職員が事務所にいない事も多い。週1回の会議や日々の職員間のコミュニケーションが重要です。職員一人一人余裕を持って利用者のサービスに対応できるよう取り組んでいきます。

訪問看護から

転倒・転落に対応して頂き、報告もすぐいただきありがとうございます。助かっています。との言葉を頂く。

体調が安定した利用者の訪問については、訪問回数を減らしても良いのでは？

ケアマネや利用者提案・相談する。

A 訪問看護より、報酬がまるめとは知らなかった。ケアマネは知っているのか？と今日気づいた様子。  
今後ケアマネから新規依頼があった場合、報酬についての説明も必要。

\*次回の開催は10月。日時については調整中。